

# 令和7年度 大規模氾濫減災協議会

## 豊前市の出水期に向けた取組について

令和7年6月3日（火）



総務部 総務課 防災安全係

# 災害対策従事体制

## 令和7年度 災害対策従事体制

(令和7年4月1日現在)

**【災害警戒／対策本部】** 災害対策全体指揮・避難情報収集・発信・マスコミ対応等

本部 対応	藤井 郁(総務部長)	真面 春樹(総務課長)	上森 康博(総務課)	菊野 蒼(総務課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	寺本 亮太(総務課)	友松 茂紀(総務課)	笈木 宏(総務課)	
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	

**【気象情報確認、記録、電話対応等】**

総務 班	徳田 崇(総務課)	上野 裕史(総務課)	高野 凜(総務課)	坂本 侑紀奈(総務課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	小原 真之(総務課)			
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			

**【情報伝達班】** 防災無線の情報発信、ホームページ、Facebookでの災害情報、避難情報発信等

災害 情報 発信	福田 奈奈(総合政策課)	丸田 航平(総合政策課)	浦野 祥大(総合政策課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

**【緊急時特別出動班】** 警戒業務及び災害時応急対応及び(警戒巡回、被害状況等確認・連絡、土のう作成業務・設置他)、避難所の運営、行方不明捜索等

≪災害対策班≫

	班 長	副 班 長		
1 班	中野 翔平(福祉課)	角 直樹(都市住宅課)	藤野 伊美(上下水道課)	北 夢咲史(税務課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
2 班	上森 悠史(総合政策課)	木戸 大介(税務課)	佐竹 侑太(市民課)	新井 大翔(商工観光課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
3 班	磯野 純平(財務課)	村田 仁志(生涯学習課)	猪ノ元 悠人(健康長寿推進課)	松岡 唯翔(市民課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
4 班	溝口 直哉(福祉課)	松井 耕平(都市住宅課)	河野 隆太(生活環境課)	坪根 勇太(生涯学習課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
5 班	末廣 悠人(市民課)	野本 篤司(デジタル化推進室)	山田 伊織(都市住宅課)	宮名利 銀次(上下水道課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
6 班	桑名 修平(学校教育課)	竹村 政洋(税務課)	持丸 大成(市民課)	瀨邊 空(生涯学習課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

**【交換受付業務、災害対策班・市民からの災害情報及び被害情報の収集・整理(案件の対応確認)等】**

≪災害情報収集・整理班≫

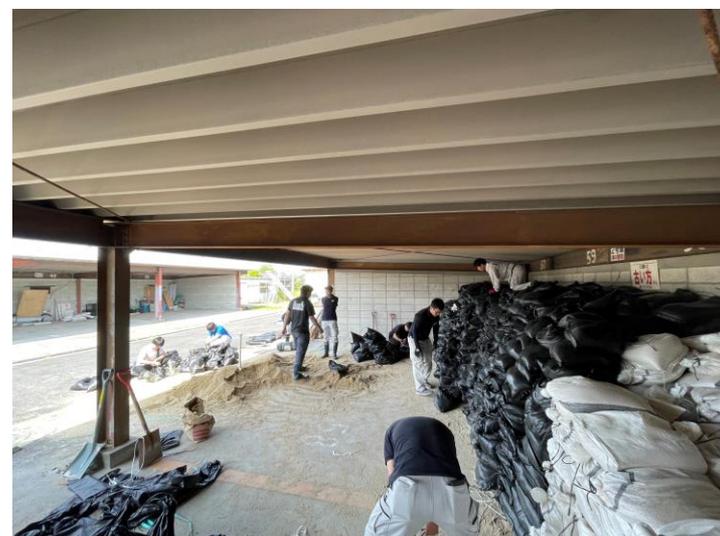
7 班	大友 あやか(生活環境課)	仲 里美(健康長寿推進課)	平井 湊(福祉課)	園田 紗風(商工観光課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
8 班	郡司掛 ひろみ(総合政策課)	西村 有衣(農林水産課)	別府 佳菜子(学校教育課)	安枝 紗弥(福祉課)
	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

市民の生命・財産、また、安心・安全確保のため、職員による緊急時特別出動班を編成し、災害に迅速に対応できる体制を整備している。

緊急時特別出動班は、災害対策班と情報収集班に分かれており、まず、情報整理班が市民からの電話等の情報を整理し、その情報を受け、災害対策班が現地へ向かい対応する体制となっている。

# 災害への備え①

梅雨時期や台風による大雨の前には、建設課や農林水産課、緊急時特別出動班の職員が協力して、浸水防止のため約2,000個の土のうを作成し保管しています。



## 災害への備え②

避難所に指定されている、小中学校・公民館・市役所等に設置している防災倉庫の点検を出水期前に行い、防災備品や非常食等がきちんと配備されているか、発電機等が正常に運転できる状態かなどの確認を行っている。



# 防災倉庫(大西防災倉庫)



外 観



扇 風 機



ポリタンク



お む つ



マスク



簡易トイレ

# 防災倉庫（市役所防災倉庫）

災害の規模が大きくなるほど、避難をする市民の方が多くなります。その為、市役所のほか数ヶ所に、防災倉庫、水防倉庫を設置し、備蓄食料、毛布などを準備しています。



# 防災倉庫（市役所防災倉庫）



飲料水



備蓄食料



毛布

# 水防倉庫（市役所水防倉庫）



**水中ポンプ、排水ポンプ、発電機、投光器、大型ブルーシート、ロープ、チェーンソー、テント、土のう袋、ハンマー、スコップ等**

普段から、自分の家や避難所までの間にどんな災害の危険があるか、災害が発生する前に、どんな準備をしたらよいのか、どこに避難すればよいのかなどを知ってもらうために、ハザードマップを作成しています。

令和5年度に、新たに2級県営河川の浸水想定区域が発表されたため、Web版ハザードマップを更新し、令和6年度には紙版ハザードマップを更新し全戸配布しております。



**豊前市**  
**ハザードマップ**

保存版

協力  
連携

共助  
地域みんなで  
協力し助け合い

公助  
行政による  
防災対策

自助  
自分の物や  
財産は  
自分で守る

令和7年2月



### 津波

地震や津波、津波による災害が発生が予想される場合に、津波が発生してから約30分後を目途に、津波警報が発令された場合は速やかに避難所へ避難してください。

**津波が発生する仕組み**

津波は地震によって発生し、津波警報が発令された場合は速やかに避難所へ避難してください。

**避難行動のポイント**

- 津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。
- 津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。
- 津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。

**津波が発生する仕組み**

津波は、地震などによって発生し、津波警報が発令された場合は速やかに避難所へ避難してください。



### 高潮・台風

高潮は津波の発生が速く、津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。

**高潮が発生する仕組み**

高潮は、津波の発生が速く、津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。

**高潮が発生する仕組み**

高潮は、津波の発生が速く、津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。

**高潮・台風の被害となる単位**

高潮警報	高潮警報	高潮警報
最大2.5m	最大1.0m	同様の被害発生範囲以上(高潮・台風による被害発生範囲)

**巨浪・吹き寄せ効果**

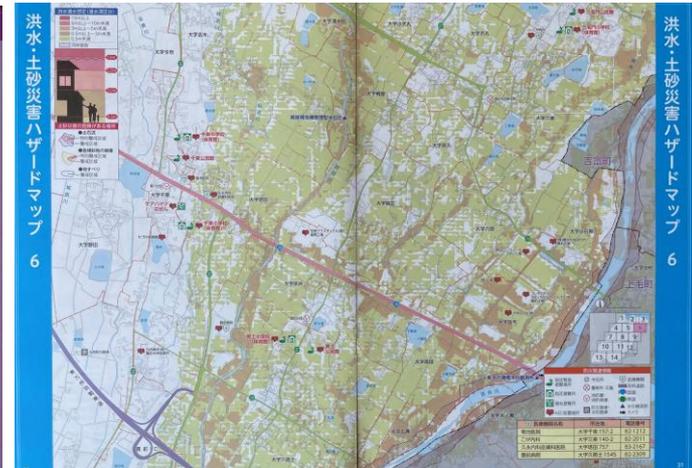
巨浪・吹き寄せ効果は、津波の発生が速く、津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。

**高潮・台風の被害となる単位**

巨浪	吹き寄せ効果	高潮警報
最大1.0m以上	最大1.0m以上	最大1.0m以上

**巨浪・吹き寄せ効果**

巨浪・吹き寄せ効果は、津波の発生が速く、津波警報が発令されたら、速やかに避難所へ避難してください。



出水期前には、市報やSNS等で広報し日頃から災害に備え、家の中や周辺など安全対策、避難場所の確認、非常時持出袋など対策ができているかチェックしていただくように啓発を行っている。

## 出水期に備えましょう!

大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用すれば、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

### 避難場所の確認など

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えようしておく。

### 家の外の備え

- 大雨が降る前に行きましょう。
- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。

### 家の中の備え

- 非常用品の確認
- 懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- 室内からの浸水対策

浸水水位が低いときは、家庭にあるものを使って、水の侵入口となるところを塞ぐことで水の浸入を減少することができます(水のう等)。水のうの作り方は、全戸配布している防災マップP13をご覧ください。



### 非常持ち出し品を用意しましょう

- リュックサック
- 飲料水、乾パン、クラッカーなど、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、哺乳ビン
- 救急医薬品、常備薬、マスク、紙おむつ、生理用品
- 現金(小銭も)、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書
- 下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴
- ナイフ、缶切り、鍋、水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュ、筆記用具、ごみ袋
- 防災頭巾、ヘルメット、予備の眼鏡、地図



【お問合せ】 総務課 防災安全係 ☎82-1116

## 大雨や台風への備えが必要な時期です!!

台風や線状降水帯による大雨は、全国各地で毎年大きな災害をもたらしています。当市においても昨年の7月10日に1日で、200mm(7月平均雨量の6割)の雨量を観測しており、市内各地で大雨被害を受けています。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防止、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。また、いざという時には、周囲の人にも声をかけ、躊躇せず避難しましょう。

### 1. 家の外の備え

- 大雨が降る前、風が強くなる前に行きましょう。
- ●窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- ●側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ●風で飛ばされそうな物は飛ばないよう固定したり、家の中へ格納する。
- ●浸水が心配される場合は、「土のう」や「水のう」を準備しておく。※



※台風や集中豪雨などの大雨の際、家の中への浸水を防ぐためには、一般的に「土のう」が使用されますが、「土のう」は女性やお年寄りを取り扱うには重くて大変です。

### 住宅の浸水被害を防ぐには

浸水被害が少ないとは、家庭にあるものを使って、水の浸入口となるところを塞ぐことで水の浸入を減少させることができます。土のうなどの浸水対策にも有効です。

※水のうは浸水の時に十分な量の土を入れておく必要があります。

◎「水のう」の作り方

- ぬいぐるみの芯を二重にして、半分程度の水を入れる
- 空気を抜いて圧しつぶす

※水のうの作り方

- ぬいぐるみの芯を二重にして、半分程度の水を入れる
- 空気を抜いて圧しつぶす

※水のうの作り方

- ぬいぐるみの芯を二重にして、半分程度の水を入れる
- 空気を抜いて圧しつぶす

### 2. 家の中の備え

- 非常用品の確認
- 懐中電灯 ・ 携帯用ラジオ(乾電池) ・ 救急薬品 ・ 衣類 ・ 非常用食品 ・ 携帯ボンベ式コンロ ・ 貴重品など
- 室内からの安全対策
- 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みへ備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- ●水の確保
- 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどで生活用水を確保する。

### 3. 避難行動のポイント

1. 浸水が始まる前に早めの避難を

2. やむなく浸水の中を歩く際は

3. 川や用水路に近づかない

4. 状況に応じた避難を(洪水)

5. 状況に応じた避難を(土砂災害)

【お問合せ】 総務課 防災安全係 82-1116

以上のように災害に向けた取り組みを行い、いつ発生するかわからない災害に対応しております。

市民の皆様には、防災訓練や研修などを通じ、災害に関する知識を取得してもらい、様々な災害に対して事前に備え、対策していただく体制を整備していきたいと考えております。



ご清聴ありがとうございました。  
ございました。

